

町誌刊行にあたって

中富町長 笠井清巳



はげしい時の流れの中に、新しい時代を意識し、それを力強く受けとめて、町の総合開発が展開されようとするとき、ここに待望の町誌の刊行を見るに至ったのは、まことによるこぼしいことです。

本誌刊行の動機は、一昨年本町発足十五周年を迎えたさい、その記念事業の一つとしてとり上げたもので、およそ二か年余にわたる編集委員の労苦と、多数の協力員の助言によって完成したものです。「峡南地域の中央部にあつて、ますます富み栄える町」の願いをこめて誕生した本町が、いま遠い祖先の暖かい血の流れに接し、将来の偉大な可能性を信じつつ、豊かなくらしのエネルギーをここに求めること

は、あすの中富を背負って立つ次の世代のひとつにとっても、よき道標となることを確信いたします。

風雪に耐え抜いた旧村時代の長い歴史が、豊かな自然の中に、生まれて十五年を越した新生中富の近代的な姿とよく調和してひろがる時、今日を新しく受けとめる創造性が、いよいよ高まることを信じ、町民各位の座右の書として、長くご愛読、ご秘蔵たまわるようおすすめいたします。

なお、本書刊行にあたり、題字をお寄せいただいた田辺知事をはじめ、貴重な資料を提供してくださいました各位に対し、厚く感謝申し上げます。

本書によって町民各位が古きをたずね、勇気をもって将来を切り開き、町発展の糧かとされるよう期待し、町誌発刊に際してのあいさつといたします。

昭和四十六年十一月